



やさし  
ちよう  
八頭町

# 議会だより

第76号

鳥取県八頭町議会  
令和6年2月発行

未来に輝く  
イルミネーション ぱらっとぴあ・やす



## 目次

- 町内施設の指定管理者 決まる・・・2～3
- 12月定例会・・・4～6
- 委員会等の活動・・・9～12
- (シリーズ) 議会知ってプラス・・・13
- 一般質問ダイジェスト・・・15

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



議案番号

施設名称

146

八東フルーツ総合センター



八東地域振興(株)

代表取締役 寺坂 健治

期間：3年 令和6年4月～9年3月

年間管理料：375万円

地元農産物販売。施設維持管理。

147

やまめ供給施設



私都養殖漁業生産組合

組合長 和田 準一

期間：3年 令和6年4月～9年3月

年間管理料：16.1万円

姫路公園などへのヤマメ供給。つかみ取りなどのイベント実施。施設維持管理。

148

大門体験農園



物産館みかど

会長 平木 誠

期間：3年 令和6年4月～9年3月

年間管理料：43.2万円

地元農産物の販売。施設維持管理。

149

ぷらっとぴあ・やず



八頭町観光協会

会長 本田 陽二

期間：3年 令和6年4月～9年3月

年間管理料：551万円

郡家駅コミュニティ施設「ぷらっとぴあ・やず」の維持管理。各種催し開催。

# 指定管理者 決まる

議案番号

施設名称

143

下私都農産物加工施設



(有)こおげ農業開発センター  
代表取締役 井上 康

期間：3年 令和6年4月～9年3月  
年間管理料：なし

地元味噌製造及び販売。  
イベントへの出品。

144

船岡竹林公園



(株)遠藤農園

代表取締役 小山 由香

期間：3年 令和6年4月～9年3月  
年間管理料：770万円

宿泊施設、屋外施設等の運営管理。接客業務。地元の旬の食材を活用し公園利用者に食事提供。

145

やずミニ SL 博物館



若桜線 SL 遺産保存会

会長 山根 徹

期間：3年 令和6年4月～9年3月  
年間管理料：320万円

ミニ SL 博物館施設の運営管理及び各種イベントの開催。ミニ SL 機関士養成。

# 令和5年12月定例会

## 12月7日～12月19日

12月定例会が13日の会期で開かれました。条例の制定が2件、条例の一部改正5件、指定管理者の指定7件、一般会計補正予算2件、特別会計補正予算6件、議員発議2件は原案どおり可決し、議員提出の一般会計補正予算の修正動議は否決しました。継続審議となっていた陳情1件は不採択としました。

### 主な議案

#### ◇議案第137号（可決） 八頭町税条例の一部改正

個人住民税の寄付金税額控除対象となる特定非営利活動法人について指定期間の経過したものを削除するもの

#### ◇議案138号（可決） 八頭町国民健康保険税条例の一部改正

出産被保険者の所得割額及び均等割額を出産予定月の前月（多胎妊娠の場合には3カ月前）から出産予定月の翌々月までの期間の月数分を減額するもの

#### ◇議案139号（可決） 八頭町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定

令和6年度から地方公営企業法の財務規定等を適用し八頭町簡易水道事業を運営することに伴い必要な事項を定めるもの

※143号～149号は2～3ページ参照

#### ◇議案144号（可決） 船岡竹林公園の指定管理者の指定

#### 反対討論 小原 徹也 議員

委託料770万円で、毎年のように委託料が上がっていることや、修繕費で結構な金額が投入されているが、担当委員会の審査結果に対する質疑に、審査不十分と疑問だ。不明瞭な部分があるので反対する。

#### 賛成討論 灘口 茂郎 議員

とっとりナチュラルガーデンの手法を取り入れ、竹林公園らしさを大切にし、これからの時代に大切な場所となるような公園運営をしていただけることを期待し、賛成する。

#### ◇議案150号（可決） 令和5年度八頭町一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算にそれぞれ1億8899万4千円を追加するもの

#### △主な歳出▽

- 財産管理費 4,670万円
- 郡家駅前用地購入費、旧八東保育所除却工事設計業務委託、旧八東小学校除却工事設計業務委託



郡家駅前の取得予定地

#### ○ふるさと納税促進事業費

5,587万円

事業費（見込）の増加に伴う経費の補正

#### ○自立支援制度事業費

4,973万円

給付見込み増加、国、県返納金の

#### 補正

- 空き家対策事業 336万円
- 木造建物略式代執行解体工事費



略式代執行解体される空き家

#### ○放課後児童クラブ運営費

246万円

委託料、備品購入費の補正



建設中の船岡放課後児童クラブ

◇議案150号に対する修正動議(否決)

歳出の総務費総務管理費に含まれる郡家駅前土地取得3,712万円を減額しようとするもの

発議者 岡嶋 正広 議員  
発議者 森 亜紀子 議員  
発議者 川西 聡 議員  
発議者 小原 徹也 議員

◇修正動議の趣旨説明

郡家駅近くの土地購入費、3,712万円について、本会議、委員会等で質疑をしたが、はっきりとした取得目的を聞くことができなかった。構想が見えない物件に町民の税金が投入される。町民の理解は難しいと考える。土地購入費とは別に必要な予算も含まれるため、補正予算案の一部を減額補正するもの

原案への賛成討論

灘口 茂郎 議員  
財産管理費3,712万円を計上し取得しようとする郡家駅前用地の活用目的が当面は駐車場ということに賛否が分かれるが、将来を見据えた郡家駅前活性化に利活用できる土地取得は必要だと考え、賛成する。

原案への賛成討論

矢部 啓祐 議員  
目的は「町の活性化」ではっきりしている。その手段は、商業店舗の

誘致や若者定住住宅の建設など様々想定できる。まずは「受け皿」をしっかり整えることが重要。未来への投資と考え、原案に賛成をする。

修正案への賛成討論

森 亜紀子 議員  
郡家駅前の用地取得より船岡駅前の土地を取得し公設民営の買い物場を求める声を聞く。そちらの方が喫緊の課題。駐車場整備には多額の予算も想定され、駅周辺だけではなく広く町民への説明が必要と考え修正案に賛成をする。

原案への賛成討論

栄田 秀之 議員  
土地の取得には土地先行取得の制度がある。公共事業の円滑、かつ効率的な執行と合理的な土地利用を図るため、将来、公園や道路等に供する用地を先行し取得する制度だ。今回の土地取得はこの制度に該当すると考える。

原案への賛成討論

前田 幸己 議員  
第二期八頭町総合戦略の重点目標の一つとして「八頭町で楽しく交流」とある。郡家駅周辺は旧八頭郡の交通の拠点だ。用地を確保し八頭町の情報発信拠点としての機能集積が必要と考え提案に賛成する。

修正案への賛成討論

川西 聡 議員  
土地の先行取得は「取り敢えず」で、目的を定め青写真を示すのが王道で万人を納得させるものではない。また、町長は「土地取得は今を置いて他にない」と発言しているが、土地権者の思いと表裏一体である。故に修正案に賛成する。

◇議案第151号(可決)

令和5年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算にそれぞれ1,703万円を追加するもの

◇議案第152号(可決)

令和5年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算総額に変更なく、修繕費の増額を予備費で調整するもの

◇議案第153号(可決)

令和5年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算総額に変更なく、委託料の増額を予備費で調整するもの

◇議案第154号(可決)

令和5年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算総額に変更なく、修

繕料、委託料を予備費で調整するもの

◇議案第155号(可決)

令和5年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算にそれぞれ250万円を追加するもの

◇議案第156号(可決)

令和5年度八頭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算総額に変更なく、委託料を予備費で調整するもの

◇議案第157号(可決)

八頭町手数料徴収条例の一部改正

戸籍及び除籍電子証明書提供用識別符号の発行手数料を加え、戸籍謄本等の広域交付等にかかる事務を規定するほか、所要の改正を行うもの

◇議案第158号(可決)

令和5年度八頭町一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算にそれぞれ1億1,059万円を追加するもの

主な歳出

○電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業

1億625万円

◇発議第13号 (可決)  
八頭町議会会議規則の一部改正

タブレット端末を議場又は委員会の会議室で使用できるようにするもの

◇発議第14号 (可決)

八頭町議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会議員の期末手当の支給月数を0.05月分引上げるもの

反対討論

小原 徹也 議員

昨年の11月臨時会で議員の勤勉手当、期末手当等の引き上げは町内及び社会状況をみて上げるべきではないと否決された。状況は改善されていない。自ら否決したものを引き上げるには理由があると考え反対する。

賛成討論

矢部 啓祐 議員

人事院の勧告は尊重すべきである。昨年のことはあるが、それに伴い、議員間で協議を重ねてきて、一定の方向性を出した。そのこともまた尊重すべきである。

反対討論

森 亜紀子 議員

昨年の臨時会で否決された議案に關係するものと考え。社会情勢の変化は町民も同じで生活は厳しい。町民が納得する必要があると考え反対とする。

賛成討論

栄田 秀之 議員

人事院勧告は民間企業との給与水準を均衡させるもので地方公共団体は参考としている。特別職の公務員である議員もこれに基づくものだ。前年度の人事院勧告による改定を行っていない。これを是正するもので賛成する。

賛成討論

川西 聡 議員

議会及び議員活動には報酬の保障が必要だが、本町議員は15年間据えられている。しかし、本町議員の活動は遜色がない。また、期末手当の増額に反対だと報酬審議会に報酬の増額を諮問しており非難される。故に発議に賛成する。

◇陳情第11号 (不採択)

女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を行うよう政府に求める陳情

提出者 新日本婦人の会鳥取県本部  
会長 山内 淳子

△不採択の理由

個人通報制度が規定されており、日本の司法制度との関係を政府で検討しているため。

令和5年  
第8回臨時会

11月28日

◇議案第127号 (可決)

町営住宅東郡家団地改修工事(その3) 請負変更契約の締結

○契約金額

5,587万7千800円  
(48万1千800円増)

○契約の相手

東洋建設株式会社

代表取締役 森木 悟

○工期 令和5年6月9日から

令和6年1月31日まで

◇議案第128号 (可決)

八頭町職員の給与に関する条例の一部改正

「一般職の給与に関する法律等の一部を改正する法律」が国会において成立したため、人事院勧告を尊重し、条例の改正を行うもの

◇議案第132号 (可決)

令和5年度八頭町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算にそれぞれ15億6,174万円を追加するもの  
△主な歳出

○農地農業用施設災害復旧費

10億9,262万円  
○林道施設災害復旧費

1億490万円

○公共土木施設災害復旧費

3億9,270万円



災害を受けた農地 (別府)



災害を受けた農地 (麻生)

# 議案等議決結果

## (第8回臨時会・第9回定例会)

議案等 番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件名	森 亜紀子	山 根張 太郎	中 村 美鈴	前 田 幸己	矢 部 啓祐	灘 口 茂郎	岡 嶋 正広	栄 田 秀之	川 西 聡	小 原 徹也	川 西 美恵子	緒 方 陽紀	奥 田 のぶよ	

### 第8回臨時会

127	町営住宅東郡家団地改修工事(その3)請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
128	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
129	八頭町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
130	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
131	八頭町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
132	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
133	令和5年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
134	令和5年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
135	令和5年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
136	令和5年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

### 第9回定例会

137	八頭町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
138	八頭町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
139	八頭町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
140	八頭町簡易水道事業基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
141	八頭町下水道等事業の設置等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
142	八頭町特別会計条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
143	下私都農産物加工施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
144	船岡竹林公園の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
145	やずみニSL博物館の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案等 番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件名	森 亜紀子	山 根張太郎	中 村美鈴	前 田幸己	矢 部啓祐	灘 口茂郎	岡 嶋正広	栄 田秀之	川 西聡	小 原徹也	川 西美恵子	緒 方陽紀	奥 田のぶよ	
146	八東フルーツ総合センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
147	やまめ供給施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
148	大門体験農園の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
149	ぷらっとぴあ・やずの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
150	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第7号)に対する修正案	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	否決
150	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第7号)(原案)	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
151	令和5年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
152	令和5年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
153	令和5年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
154	令和5年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
155	令和5年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
156	令和5年度八頭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
157	八頭町手数料徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
158	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

陳情11	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を行うよう政府に求める陳情	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	不採択
発議13	八頭町議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
発議14	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決

賛成「○」、反対「×」で記載。採決は、尾島議長を除く13人で行う。



# 議会改革推進調査特別委員会報告

## 議員報酬・定数

令和5年11月14日 船岡庁舎2階 第2、3会議室

### 議員研修

テーマ 「町村議会における議員報酬（・定数）  
の実態・傾向と論点整理」

講師 鳥取大学地域学部 塩沢 健一 教授



塩沢教授による議員研修の様子

### 研修内容

人口減少社会の中、「持続可能な議会」が求められる。

議員1人当たりの活動量に見合った報酬額の検討がされている。

コロナ禍による停滞を経て、増額を肯定する理論が浸透してきた。

第32次地方制度調査会答申では、「議員報酬については主として小規模町村において、それだけでは生計を維持できないほどの低水準であり、なり手不足の要因であるとの議論がある」

統計分析の結果から議員報酬が低いほど無投票を生じさせる。

住民自治の観点を踏まえて議員報酬を議論する重要性がある。

住民とともに考え、理解、納得を得ることが第一だ。

※研修を行った後、議員に対して、議員の報酬・定数に関するアンケートを実施し、議員の意見を集約しました。

結果、議員の議員定数は14人の現状のままとなり、議員報酬は八頭町特別職報酬等審議会の答申を得ることとなりました。

※議員報酬・定数について、令和5年度に実施しました「議会報告会・意見交換会」で、町民の皆様から、たくさんのご意見を頂きました。ありがとうございました。

※議員報酬・定数について、令和5年度に実施しました「議会報告会・意見交換会」で、町民の皆様から、たくさんのご意見を頂きました。ありがとうございました。

## 小委員会を設置

議会改革を推進するために、3つの小委員会を設置しました

### 議会DX推進小委員会

議会タブレット導入にあたり、議会内DXを推進します。主に研修会等を実施します。

委員長 灘口 茂郎  
副委員長 矢部 啓祐  
委員 緒方 陽紀  
委員 奥田 のぶよ

### 議会報告会等小委員会

議会報告会・意見交換会等の協議、調整等を行います。

委員長 山根張太郎  
副委員長 川西 聡  
委員 森 亜紀子  
委員 岡嶋 正広

### BCP推進調査等小委員会

BCP（事業継続計画）は自然災害等の緊急事態において事業の継続、早期復旧を可能とするためのもので、八頭町議会の計画案を作成します。

委員長 前田 幸己  
副委員長 川西美恵子  
委員 中村 美鈴  
委員 栄田 秀之  
委員 小原 徹也

## 総務教育常任委員会先進地視察報告（令和5年11月1日～2日）

**参加者** 委員長 川西美恵子 副委員長 灘口 茂郎 委員 森 亜紀子  
委員 山根張太郎 委員 緒方 陽紀 委員 尾島 勲

### ～自動運転バスで地域活性化～

期日：令和5年11月1日（水） 場所：茨城県境町

#### 調査概要

- 2021年1月に自動運転バスを3台導入し、5年間運行を決定。
- 自動運転バスの乗車賃は無料で、安全を確保しながら運行されている。
- 自動運転バス導入の効果として、①買い物にいけるようになった②免許を返納しても生活できるようになった③境町に来る人が増えたなどの効果があったとのこと。
- 5年間で5億の経費が必要であったが、地方創生交付金、デジタル田園都市交付金、ふるさと納税などを活用し、経済効果は7億円とも言われている。
- 境町のふるさと納税額は60億円にものぼる。
- 境町は、自動運転バスだけではなく、日本一の子育ての町を目指して、英語教育、給食費助成、医療費助成などに積極的に取り組んでいる。



#### まとめ

- 今回の視察のメインは自動運転バスの実走視察であったが、まちづくりの一環として自動運転バスが走行されているものの、他の複合的な事業展開により、町全体が活気に満ちている。
- 境町のまちづくりの方針は、全国的に成功している事例を真似することで、地域に活力を生み出すことであった。優良事例を即座に導入する行動力と積極性を八頭町でも取り組んでいきたいものである。
- 自動運転バス沿線には飲食店や体験型娯楽施設が次々と新設されており、交付金や補助金、ふるさと納税などの財源を確保し、衰退した町の復活を圧倒的なスピードで進めていた。境町のようなスピード感と戦略性が八頭町には必要だと感じた。



### ～秩父市スマートシティの実現に向けた取り組み～

期日：令和5年11月2日（木） 場所：埼玉県秩父市

#### 調査概要

- 買い物支援や災害対応（令和3年度～）  
ドローン配送による物流の効率化や災害時の支援。
- 遠隔医療や医薬品等の配送（令和4年度～）  
ICT等を活用した遠隔医療、服薬指導等。
- 生活交通と物流の維持（令和4年度～）  
物流 MaaS の導入。共同配送、貨客混載による物流の効率化。

#### まとめ

- 共同配送サービスについては、想定していた荷物の個数が少なく、ラストワンマイルを担う事業者がないのが現状。
- 災害時にドローンを活用しての物流は必要であるが、5キログラム以内の荷物に限定されることから、物流の手段としては弱い。
- 八頭町においても買い物支援や地域医療の整備は喫緊の課題であるため、秩父市の今後の取り組みに注視しながら、参考になる点を取り入れ、町民の生活の利便性につなげていくことが必要である。

## 産業福祉常任委員会視察調査研修報告（令和5年10月19日～20日）

**参加者** 委員長 栄田 秀之 副委員長 矢部 啓祐 委員 中村 美鈴  
委員 前田 幸己 委員 岡嶋 正広 委員 川西 聡  
委員 奥田のぶよ

### ～ひきこもりや障がいのある方々に地域での活躍の場を～

期日：10月19日 場所：滋賀県近江八幡市 東近江圏域 働き・暮らし応援センター  
“Tekito-(テキトー)”

#### 調査概要

- ひきこもりや障がいのある方々の社会における就労生活を地域で支援する仕組みづくり形成への取組を学んだ。
- 現在は、市内の150の企業が“Tekito-(テキトー)”の卒業生を受け入れてくれている。
- “Tekito-(テキトー)”では入所者の方を数か月で卒業させて市内の企業への就職を手伝っている。
- ひきこもりや障がいのある方もそれぞれのタイプに合った働き方を選択して働いている。“Tekito-(テキトー)”で働く自信がいたら卒業して市内の企業で働く。

#### まとめ

障がいのある方、ひきこもりの方の就労や生活に関する相談、助言だけでなく、就労支援を地域で働き支える仕組みづくりに取り組んでいる。地域を救う担い手として応援をしており、現行の制度では、「救えない課題」に取り組んでいる。熱意を持って実行する人の人材育成・確保の必要性を感じた。



### ～ITを活用した先端的農業～

期日：10月20日 場所：福井県福井市 株式会社ペントフォーク

#### 調査概要

- レストランで提供するフォーは自社生産の加工用米（中粒種のインディカ米を改良した越穂種）を使用している。現在県外でも加工用米の生産委託をしている。
- ITの導入や大規模化を図り、これからの時代に対応した農業の高度化を推進し、農業生産にとどまらず加工、販売、サービスまで展開する6次産業化に取組。



#### まとめ

農業生産の省力化を図り、主食用米の生産割合を抑え、加工米、飼料用米の生産をしている。加工販売、フォーを中心としたレストランの経営と6次産業化を進めている。コメの生産及び消費の手段を考え、米粉を利用したパン、麺を製造し、直売店や直営レストランで提供する。主力は自社生産の米粉を活用した米粉パン、ケーキ、フォーの製造販売である。

米粉の活用、米粉パンについて八頭町も再注目すべき課題と感じた。

地域をいかに元気にするか、地域にいかに貢献するかの活動である。民間組織の育成、人材の確保、育成に取り組むべきと強く感じた視察研修であった。

# 議会モニター会議を開催



住民意見の反映のために令和5年11月16日に6人の議会モニターの方に集まっていたいただき議会モニター会議を開催しました。



意見交換の様子

## モニター意見

全員協議会に参加した。テレビなどでは放映がないが、議案審査の状況がよくわかる。進め方もよかった。

一般質問の傍聴は直接聴いたほうがよく理解できる。しかし、時間がなくてテレビ中継を利用しているが、インターネット配信もできて、仕事の合間に気軽に観ることができてよかった。

議会広報は議会の内容がよくわかり、近年、読みやすくなっている。一般質問のページも1人1ページあるほうがよく理解できる。

議会の動き、活動などがもっと伝わるように、広報が必要だ。

ホームページのスケジュールや必要なお知らせなどが、町民に伝わる工夫がもっと必要ではないか。

議会用語などの説明があればと思う。

## 議会モニター制度

議会の活動について、広く町民の意見をいただき、議会の運営等に反映させようとする制度です。全国町村議長の調査では令和4年7月1日現在で926町村のうち102の町村で実施されています。

八頭町議会では、八頭町議会基本条例の第7条に「議会は議会モニターを設置するなど、町民から議会活動に関する要望、提案、その他の意見を聴き、議会活動に反映させるものとする」としています。

条例に基づき、令和元年から令和5年まで、議会広報モニター制度を実施し、議会だよりへのご意見をいただきました。

また、令和4年には議会モニター制度を設置し、より広く議会運営についてご意見をいただき、より円滑な議会運営を推進していきます。





知  
ってプラス

## してみませんか!議会の傍聴を

「議員って普段何をしているの?」そのような問いかけをいただくことが多いです。今回は議会の仕組みや内容を分かりやすくシリーズでお伝えしていこうと思います。第2回目は、「議会の傍聴の仕方」についてです。

### Q1 議会ってどこで行われているの?



**A1** 船岡庁舎で行われています。  
会議によって3階の本会議場や  
2階の委員会室が使用されます。

### Q2 傍聴するにはどうしたらいいの?



**A2** 本会議は、船岡庁舎3階の  
傍聴受付で先着順に受付けます。  
(通常は午前9時30分開会)  
予約は不要で氏名・住所を記載するのみです。

次回定例会は3月6日(水)から開始の予定  
で、議員の一般質問は3月11日(月)、  
12日(火)の2日間の予定です。

傍聴に来て頂くと「緊張感」と「臨場感」が伝  
わってきますので、ぜひ多くの方々の傍聴をお  
待ちしております。



第1委員会室

### 本会議の様子はYouTubeでもご覧いただけます!

◆ YouTubeで「八頭町議会チャンネル」と検索いただくか「八頭町議  
会ホームページ」で「新着情報」から「録画放送を掲載しました」をク  
リックして下さい。



## 令和5年度（9月26日～12月19日） 議会等の出欠日数一覧

### 【臨時会・定例会・研修会】

議席番号	議員名	1 森 亜紀子	2 山根 張太郎	3 中村 美鈴	4 前田 幸己	5 矢部 啓祐	6 灘口 茂郎	7 岡嶋 正広	8 栄田 秀之	9 川西 聡	10 小原 徹也	11 川西 美恵子	12 緒方 陽紀	13 奥田 のぶよ	14 尾島 勲
第8回臨時会（11/28）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1		
	欠												1		1
第9回定例会（12/7～19） ※本会議5日間	出	全 員 出 席													
	欠														
東部町議会議長会議員研修会（10/13）	出	1	1	1	1	1	1	1		1		1	1	1	1
	欠								1		1				
鳥取県町村議会議員研修会（11/22）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1
	欠										1				

### 【議会運営委員会・常任委員会・特別委員会、全員協議会】

議席番号	議員名	1 森 亜紀子	2 山根 張太郎	3 中村 美鈴	4 前田 幸己	5 矢部 啓祐	6 灘口 茂郎	7 岡嶋 正広	8 栄田 秀之	9 川西 聡	10 小原 徹也	11 川西 美恵子	12 緒方 陽紀	13 奥田 のぶよ	14 尾島 勲
議会運営委員会（6回）	出	/	6	/	5	/	/	/	6	6	/	6	5	/	/
	欠	/	/	/	1	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/
総務教育常任委員会（4回）	出	4	4	/	/	/	4	/	/	/	1	4	4	/	4
	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3	/	/	/	/
産業福祉常任委員会（5回）	出	/	/	5	3	5	/	5	5	5	/	/	/	5	/
	欠	/	/	/	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
議会広報常任委員会（4回）	出	3	/	/	4	4	4	/	/	4	/	/	3	4	/
	欠	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/

議会改革推進調査特別委員会（4回）	出	3	4	4	2	4	4	3	4	4	1	4	3	4	/
	欠	1	/	/	2	/	/	1	/	/	3	/	1	/	/
予算・決算に関する調査特別委員会（3回）	出	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	/
	欠	/	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/
全員協議会（9回）	出	9	9	9	8	9	9	8	9	9	9	9	8	9	9
	欠	/	/	/	1	/	/	1	/	/	/	/	1	/	/

右のQRコードから「ホームページの出欠表」がご覧いただけます。



ここが聞きたい

# 一般質問

12人が  
一般質問  
しました。



QRコードを読み込むと、YouTube動画でご視聴いただけます

質問者	質問事項	頁
川西美恵子	子育て支援	16
	ふるさと納税	
奥田のぶよ	地域共生社会の実現	17
	ねんりんピック2024	
矢部 啓祐	地域の活力を上げる施策	18
岡嶋 正広	町政執行における諸課題	19
	オーガニックビレッジプロジェクトの推進	
灘口 茂郎	これからのまちづくり	20
	あーとふる八頭	
小原 徹也	行政運営全般	21
川西 聡	自衛隊員募集のための「適齢者名簿」の情報提供	22
	带状疱疹ワクチン接種の助成	
山根張太郎	本町におけるSDGsの取り組み	23
森 亜紀子	買い物支援対策	24
	避難行動要支援者の避難対策の整備計画等	
緒方 陽紀	郷土愛を育む施策	25
	やずバス	
中村 美鈴	带状疱疹	26
	ヤングケアラー	
柴田 秀之	子育てと教育	27
	労働力、地域の担い手応援	

## お詫びと訂正

前号の八頭町議会だより第75号の中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

※26ページ森亜紀子議員の一般質問の写真のキャプション(見出し)

誤) 新しくなったハートフル駐車場 → 正) 子育て応援駐車場

## 子育て支援

### 保育所の完全給食を 実施しては

町長／施設や人材確保などの  
調査・検討したい



川西美恵子 議員

#### 質問

3歳以上になると、主食の御飯は家から持つていくことになっていく。御飯による雑菌の繁殖なども心配だ。子どもたちが安心して昼食を食べることができるよう、保育所で給食として提供するのが望ましいと考えるが。

鳥取市と境港市は令和6年度から施設等を改修し、順次、完全給食へと移行するとのことである。

日野町、大山町、智頭町、若桜町などでは、既に完全給食となっている。

#### 答弁

吉田町長

調理設備や調理スタッフの人材を確保することが課題だ。

#### 質問

本町は人口の減少率が県下で6番目に高い。特に、20代、30代の若い世代が鳥取県内に流出している。



保育所給食の様子

認定こども園も無い、幼稚園も無い、保育所は完全給食ではない、遊び場も十分でない。  
本町は、子育てに優しい町といえるのか。

#### 答弁

吉田町長

転出が多い要因は、便利なまちということや若い方が、鳥取市を選ばれているのではないかと推測している。

完全給食のお話など、しっかり調査、検討したい。

## ふるさと納税

### 財源確保のため 先進地を参考に 返礼品を準備したい

町長／魅力発信につながる  
返礼品を準備したい

#### 質問

本町のふるさと納税は、昨年は1億9,000万円余り。

返礼品は現在291品目で、梨セットなどのフルーツがランキング上位となっている。

60億円ふるさと納税がある先進自治体では、ふるさと納税が増えた理由は、返礼品をよそよりも少し量を多くすること、品目数を増やすこと、マスコミを積極的に活用するなど、ちよつとした工夫により、大幅に寄付額が増加したとのこと。八頭町も5億円、10億円と伸びる可能性を秘めていると思う。

財源確保のためにも、先進地を参考にすべきと考えるが、町長の見解は。

#### 答弁

吉田町長

年々寄附額は増加し、町の子育や教育分野などに活用している。返礼品では、特に梨の定期コー



人気の返礼品

スや花御所柿などが好評をいただいている。  
町の魅力発信につながるフルーツや特別栽培米、若桜鉄道を活用した体験型の返礼品などを準備し、交流人口や関係人口の拡大につなげていきたい。

※その他の質問

台風災害による負担金について



## 地域共生社会

### 農福連携による働く場、居場所づくりは

町長／関係機関と連携し、必要な支援を行いたい



奥田のぶよ 議員

#### 質問

地域共生社会に向けた取組と地域福祉推進計画は。

- ① 小地域福祉活動の推進は。
- ② 福祉相談支援センターは。
- ③ 地区総合相談窓口は。
- ④ 就労の機会の確保や農福連携による働く場、居場所づくりは。

#### 答弁

吉田町長

① まちづくり委員会未設置地区は国中地区と西郡家地区の2地区だ。西郡家地区は、いまだに検討会の段階で集落説明会の開催も進んでいない。季節的イベントの健康づくりの集いを開催しながら設立の機運を高めたい。

集落サロンは平成30年度に68あったサロンは令和5年度当初に56であり、孤立防止、支え合いの意義の成熟のため、集いの場を維持することは大切だ。

② 社会福祉協議会にある八頭町福祉相談支援センター「ほっと」は、

あらゆる相談をまず受け止める無料のワンストップ窓口として活動している。必要に応じて伴走型支援を行っている。

③ 各まちづくり委員会の集落支援員が地区総合相談窓口として専門機関につなげている。

④ 本町は障がい者作業所から物品の優先調達の推進を行っている。

農福連携は、町内に農作業を請け負う就労継続支援事業所もあり、関係機関と連携し、必要な支援を行いたい。

#### 質問

まちづくり委員会が未設置な地域に対しては集落サロン、老人クラブの維持など小規模での活動が大事だと考えるが。

#### 答弁

吉田町長

集落の拠点となるサロンは大事だ。情報提供し、多くの方に集まってもらおうようにしたい。

## ねんりんピック

公民館や図書館で将棋交流大会を考えないか  
教育長／時期や内容も含め検討したい

#### 質問

来年開催のねんりんピックリハーサル大会が11月4日実施された。反省点や課題は。

- ① 会場、駐車場の問題は。
- ② 来場者に町内を周遊してもらう取組は。
- ③ 公民館や図書館で将棋の交流大会を考えないか。

#### 答弁

吉田町長

① 予定会場の八東体育文化センターは将棋交流大会には十分な広さがあり、イベントにも対応できる部屋もある。昼食会場には、八東小学校、若者体育館の利用を検討している。駐車場は、選手は県のバス利用なので十分確保できる。

② 若桜鉄道の乗車、道の駅はつと、SL博物館、大江ノ郷などのミニツアーを検討している。

#### 答弁

薮田教育長

③ 来年の本番への機運を高めるためにも、ねんりんピック実行委員や将棋連盟の方とも相談しながら時期や内容も検討したい。わかとり国体で根付いたホッケー競技のように将棋も本町を代表する競技となるような取組を考えたい。



フルーツ将棋フェスティバル

## 地域の活力向上

### 地域にデジタル人材を増やす 「きつかけづくり」を

町長／全国事例を  
調査してみたい



矢部 啓祐 議員

#### 質問

本町でも住民手続きの電子申請や森林資源のレーザー航測による管理の効率化が検討・実践されている。他にも飲食業、製造業、農林業の現場で加工品や農作物の販売、宣伝に活用され、デジタルの推進が利益の向上に欠かせないものになってきている。

地域が抱える諸課題に、デジタル実装による解決を牽引する「デジタル人材」を育成、確保することが行政の住民サービス、町民所得の向上につながり、地域の活力を上げることになるはずだ。

①「デジタル人材」とはどのような人材を指し、本町でどのように活用されるべきか。  
②現在実施中のプランは制作物や構造物を作成しており、来年度の町政でどのように活用・運用していく方針か。  
③「デジタル人材」を確保、育成

していくことは、地域への人材の還流・働く場の創出につながる。学生の町内定住化、Uターン者の加速、女性の活躍の場の発展に期待が出来るが、今後、「デジタル人材」を地域でどう確保、育成していくのか。

#### 答弁

吉田町長

①「デジタル人材」とは、情報通信技術を理解し、特に適応力や問題解決能力を重視すべきである。

行政そのもので取り込むだけでなく、地元企業等でDXを牽引する人材の育成を促し、活用をする。

②取組内容として、システムの導入等を掲げているが、本年度中に完成するものではなく、次年度以降も順次取り組んでいく。

外部からの人材登用や職員の資格取得、研修等で能力を高めていく。

③「デジタル人材」が増えれば、地域の競争力が強化し、経済活動

が活発化する。児童生徒の情報活用能力の育成、民間企業からのデジタル人材の確保等の検討が必要だ。

#### 質問

本町内でもDXの活用で農業法人が大手百貨店からの大口の受注に成功したり、台風災害復旧の自己負担分をネットで集めたり、商工会の取組で、12企業のHP作成をされる等、好事例がある。こうした分野に精通した人材を地域に増やすことが望ましい。

内閣府にコロナ禍後を見据えた女性のデジタル人材の育成、登用拡大を目的とした交付金がある。こうした交付金を活用して、「デジタル人材」を育成するための研修や講座が実施できる民間企業の公募をして、人材を町内に還元してみたい。

#### 答弁

吉田町長

様々な交付金があるのは承知している。民間企業と連携を図り、デジタルの分野に参入してもらえ、人材を増やしたいと思う。

#### 質問

兵庫県豊岡市では2020年から取り組んでいる事例がある。行

政として、地域に「デジタル人材」を増やす「きつかけづくり」(デジタル人材育成の講座、ネットワーキング、マッチング、起業相談などが出来る民間の公募)に取り組んでみては。

#### 答弁

吉田町長

民間活力でのきつかけづくりがどのような連携で出来るのか。全国事例を調査してみたい。

#### ※その他の質問

八頭町の施策のグラウンドデザイン(全体の構想)の描き方について



DXを牽引する本庁舎

## 町政執行上の課題3点

### 監査体制・民生委員推薦状況・町道維持管理

町長／現状及び協議・確保に努める・計画的に実施



岡嶋 正広 議員

#### 質問

監査体制の充実・強化に向けて  
①2人の委員のうち1人は議会選出の委員である。議員は議会としての監視機能に専念すべきでは。  
②議会事務局職員が監査事務局を兼務担当している。このことは議会事務の停滞につながっているのではないか。  
③常勤委員及び非常勤委員の2人体制についての考えは。

#### 答弁

吉田町長  
①現状で問題ないと考えている。  
②兼務ではなく選任体制が望ましいが現状の職員数からして難しい。  
③委員や議員各位と協議し一定の方向性を出したい。

#### 質問

議会活動を支える議会費も監査対象である以上、議会選出監査委員は置くべきではないと考えるが。

#### 答弁

吉田町長  
そうであれば選出しない条例の整備が必要だ。

#### 質問

民生委員の推薦状況について  
本町では民生委員の推薦依頼が少なく定数未満足状況が続いている。定数確保に向けた考えは。

#### 答弁

吉田町長  
現在、定数69人に対し8人の欠員となっている。地域住民が必要な支援やサービスの提供を受けられるようなり手確保に努めたい。

#### 質問

町道維持管理についての基本的な考えは。

#### 答弁

吉田町長  
修繕、草刈、清掃等を行っている。大規模修繕は計画的に実施。清掃、草刈は幹線町道を行う。

## オーガニックビレッジプロジェクト

体制づくりを進めるべきでは  
町長／町内関係者と研究したい

#### 質問

オーガニック(有機)農業とは化学肥料・農薬の不使用、遺伝子の組換え技術を利用しない農業生産方法を用いて行われる農業だ。  
本町では各地域で先駆的農業団体が活動しており、それらの団体がSDGsや食の安全・安心など世界的に重要テーマに取り組みることにより八頭町のブランド化を図る事が可能だ。

#### 答弁

吉田町長  
全国的な人口減に伴い、農産物の消費も減少する中、先の読めない現代において地域のリスク回避につながる。  
一日も早く準備委員会を立ち上げ、八頭町版オーガニックビレッジ宣言を行う体制づくりを進めるべきと考えるがどうか。

オーガニックビレッジの創出は有機野菜の普及と有機農業拡大に重要であると考える。



堆肥で栽培される町内の白ネギ

一方生産から収穫までの労力、生活環境への影響、虫食い、形が不揃いな野菜であっても有機農産物を選択することなど生産から消費までの循環の構築が必要である。

宣言については内容を十分精査し、取組の可能性も踏まえJANAなど町内関係者と研究したい。

## これからの まちづくり

### 合併のまちの町長としての まちづくりは

町長／地域の特色を伸ばす  
まちづくりができれば



灘口 茂郎 議員

#### 質問

町内での経済循環による活性化という視点で、デジタル地域通貨、独自のキャッシュレスシステムを導入してみても考えるが。

#### 答弁

吉田町長  
商工会との懇談会で話が出れば、町としても支援したい。

#### 質問

白兔伝説関連のイベントを一過性のものにせず、継続していくべきと考えるが。

#### 答弁

吉田町長  
継続できるものを抽出して、継続できたらと思う。

#### 質問

合併のまちの町長として、今後どのようなまちづくりをされているのか。



もう一つの白兔伝説 「福本の白兔神社」

#### 答弁

吉田町長  
それぞれの地域の特色を伸ばすようなまちづくりができればと思う。

## あーとふる 八頭

### 集う人と人との交流が生まれる 施設に

町長／対応を考えたい  
教育長／拡充に努めたい

#### 質問

展示と企画で楽しめたものは何か、どのような企画に興味があるか、ご希望・ご意見の来館者様アンケートの集計、分析はされているのか。

#### 答弁

薮田教育長  
当然集計している。特に鉄道模型の関係はリクエストがある。

#### 質問

もつと子どもが体験や発表できるような企画も検討し、多くの方にご来館していただき、集う人と人との交流が生まれ、八頭町の未来につながる創造が始まるような施設にしていきたいと思うが。

#### 答弁

吉田町長  
交流体験は課題の一つだ。対応を考えたい。

#### 答弁

薮田教育長  
多くの方々に繰り返し来ていただき楽しんでいただける、色々考えていただけるといような施設になっていくべきだと思う。



今後が期待される「あーとふる八頭」

## 行政運営

### 本庁舎に関する 住民との合意形成は何か

町長／行政懇談会で  
確認した



小原 徹也 議員

#### 質問

①今、本庁舎建て替えの問題があり、どこに建てるのか、という議論が進められている。町長はこの議論の前提として、住民の多くは建て替えに賛成の声であると発言している。

聞きたいのは、住民と町長の合意形成とは何かということだ。判断は、先に行われた行政懇談会での意見集約の分析のようであるが、私が見た会場では、集落の役員の方や元議員、並びに団体の関係者、行政経験者の方々が参加していた。町長は参加しない住民の声をどう集約されたのか。

本庁舎建て替えることが、前提に議論されているが、建て替えをすることをいつ決定したのか。または、現在ある船岡庁舎・八束庁舎を利用するなど、当然、町長は町民全体の意見を集約したものであるか。

②本庁舎建て替えの問題は、町長

の公約や進退に関わる問題だと考  
えるが、なぜ住民へ丁寧な説明の  
機会を設けないのか。

次に、財源は。何処からか、50  
億とも60億とも言われているが、  
建て替えに必要な財源とは。日程  
はいつ建設を始めていつ完成する  
のか、説明がない。

「本庁舎移転は、条例変更が関  
わること」と質問の頭に言ったが、  
憲法の最高規範には「国民主権」  
が明記されている。八頭町で言え  
ば住民に主権があると考えるが。

庁舎検討委員会に諮問した結果  
と答弁したが、いつ諮問された回  
答か。

#### 答弁

吉田町長

①参加していない方の意見集約は  
特に行っていない。

行政懇談会では「八頭町庁舎建  
設検討委員会」の基本的な考え方  
を説明した。

意見集約については、アンケー

トや意見交換会等で伺いたいと思  
えている。

建て替えの決定は、検討委員会  
の結果を申し上げた。

最終的には、議会の判断を頂く  
ことと思っている。

②検討委員会の報告は、郡家地域  
に本庁舎機能を有するコンパクト  
な新庁舎を建設する。

私の情報公開のやり方は、行政  
懇談会で就任以来開催している。

今回も、行政の集落の代表の  
方々に御案内し、声をかけて出て  
頂きたいと案内した。

行政懇談会では、結果として住  
民から、特段の意見はなかった。

改めて議会の公共施設等調査特  
別委員会にお諮りを願ったとい  
うことだ。



本庁舎

## 自衛官募集事務

情報提供は個人情報を守る上で問題ないか

町長／特段、問題はない



川西 聡 議員

### 質問

昨年度、自衛官募集を目的として若者の個人情報に記載した名簿を自衛隊に提供した自治体は全国の自治体の約6割を超えた。

住民基本台帳に記載の氏名・生年月日・住所・性別の4情報を紙や電子媒体の名簿で提出している。

①従来、本町が行っていた自衛隊職員の見学転記から名簿提供に変更した時期はいつからかを問う。

②閲覧転記から名簿提供へ変更した理由とその根拠は何かを問う。

③名簿提供は強制か任意かを問う。

④適齢者が知らないところで情報の出入が行われている。「個人情報を守る上で問題ないか」との疑問の声がある。所見を問う。

⑤適齢者本人の提出名簿からの除外申請を認める制度を設けている自治体もある。個人情報保護する上でも制度を認めてはどうか。

### 答弁

吉田町長

## 带状疱疹ワクチン接種

高額であり費用の助成を

町長／任意接種であり助成は難しい

### 質問

带状疱疹は、水疱瘡と同じウイルスで起きる皮膚の病気である。皮膚症状に先行して痛みが生じ、皮膚症状が現れるとピリピリさすような痛みとなり、夜も眠れない程の激痛もある。皮膚症状が消えると痛みも消えるが、神経損傷で罹患した人の20%が痛みの続く带状疱疹神経痛となり、痛みの酷い人にとっては一生続く場合がある。他に角膜炎・顔面神経痛・難聴等の合併症が生じることもある。

带状疱疹ワクチン接種の費用は8,000円で接種回数は1回だが、より予防効果の高いワクチンは1回20,000円で2回の接種の必要があり自己負担額は高額である。ワクチン接種の費用を助成することを求める。また、今後の接種に関する周知徹底についても併せて見解を問う。

①令和2年度の募集対象者からだ。②理由は、「自衛隊法施行令第120条で防衛大臣から資料の提出を求められた」ものによる。根拠は「自衛隊法第97条及び先の施行令第120条の条文」である。③強制ではない。自衛隊法及び同法施行令に基づく遂行事務である。④募集事務は、自衛隊法第29条第1項に基づく「法令で定める事務」の遂行のために必要である。⑤今後検討する。

### 質問

住民基本台帳法は公益の目的で「閲覧」しか認めていない。情報提供は個人情報を守る上でどうか。

### 答弁

吉田町長

「住民基本台帳の一部の写しを用いることには特段、問題はない」との閣議決定もある。住民基本台帳法上、個人情報の保護についてはそれぞれ特段、問題はない。

### 質問

。定期は予防接種法に基づき市町村が実施主体となり実施される。公衆衛生上の必要性が考慮されていく接種は公費で行っている。

带状疱疹ワクチンは定期接種ではなく、希望者が各自で受ける任意接種であり、現状では本町の費用助成は難しい。

周知や啓発の予定はないが、带状疱疹ワクチンは、国の審議会定期接種について議論がされている。定期接種となった場合は周知等を行い接種に繋げていきたい。



带状疱疹の初期症状

### 答弁

吉田町長

予防接種には定期と任意とがある。

## SDGsの 取組

### 帰ってきたい子どもを 育てるのが大事では

#### 町長／一つ一つ丁寧に

#### 取り組んでいく



山根張太郎 議員

#### 質問

誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するために国連加盟の193カ国が2030年までの15年間で達成するために掲げた目標は、国や企業、専門家や個人が協力し合うことで17項目の目標をパートナーシップで達成するものであり、本町の具体的な取組状況を伺う。

- ①「全ての人に健康と福祉を」についての取組状況と達成度は。
- ②質の高い教育をみんなについて、具体的な取組と達成度は。
- ③ジェンダー平等を実現しようについて、具体的な取組と課題は。
- ④人や国の不平等をなくそうについて、部落差別や人権等の具体的な取組と課題は何か。
- ⑤住み続けられるまちづくりについて持続可能な具体的な取組は。

#### 答弁

吉田町長

①次期、「健康づくり計画」を策定中である。次期計画では運動や食生活習慣の改善を最優先課題として捉え、適切な保健医療サービスの提供を行いたいと考える。

②子ども達は、保育所から中学校卒業まで成長に合った教育環境の中で学習や体験活動を通して自分を見つけていく、町としてはその環境づくりを支援し持続可能な社会づくりが目標と考える。

③八頭町男女共同参画プランを作成し現在は第4次プランに沿った事業を展開し、毎年プランの進捗状況等を検証している。

④人権尊重するまちづくり基本計画を実行する取組を推進している。

⑤第2次八頭町総合計画後期基本計画を実行に移す取組を推進している。

住み続けられる町づくりでは、基本目標7項目を策定している。

1. は住民が主役のまちづくり。
2. はやすらぎと生きがいのあるまちづくり。
3. は交通など防災、地域情報化の推進、公共交通の利便性向上。
4. は環境保全や再生可能エネルギーの利用促進。
5. は活力ある産業で地域資源を活用した観光の推進。
6. は心豊かな人づくり、教育文化スポーツの振興。
7. は効率、効果的財政運営行改を推進し、健全な財政運営に務める。

#### 答弁

藪田教育長

②質の高い教育をみんなについて本町で出来ていることは、

1. 保育所で小学校入学までの経験や準備ができること。
2. 男女の区別なく無料で義務教育を受けられること。
3. 小中学校のキャリア教育を受ける中で、将来なりたい自分を見つけること。

きめ細かに対応する必要がある児童生徒は、保育所では、加配保育士を配置し、小学生になると特別支援学級や通級指導などで授業がスムーズに行われるように個々に応じた教育を行っている。

#### 質問

誰一人取り残さない持続可能なまちづくりとして活用し、将来大人になったときに帰ってきたいと思ってくれる子どもを育てるのが大人の仕事と考えるが。

#### 答弁

吉田町長

日々の生活の中で一つ一つ丁寧に取り組んで行くのが本来の姿だ。物を大事にする子ども達が育つ、本当のSDGsの原点に帰るのではないかと考える。



子どもと大人のふれあい

## 買い物支援

### 公設民営で 店はできないか

#### 町長／若桜とは 町の形態が違う



森 亜紀子 議員

#### 質問

トスク船岡店は7月末、丹比店は9月末に閉店した。本町は買物アプリを導入するなど買物支援を進めている。次の3点伺う。

- ①買物支援の周知は。
- ②現状と課題は。
- ③今後の計画は。

#### 答弁 吉田町長

①近隣住民にチラシの配布や区長経由で案内をしている。  
②買物アプリ登録者利用者が増えないこと。そしてID登録を敬遠される方があることなどが課題。  
③船岡地域のネット注文による買物支援を拡大するため、地域に向いた受付を検討している。  
丹比店についてはエスマート若桜店の開店を受け、若桜鉄道を利用したシルバー定期の一部助成を考えている。



にぎわうエスマート（若桜）

#### 質問

船岡地域で小さくても買物ができる店を希望する方がいる。公設民営化はできないか。

#### 答弁 吉田町長

若桜とは町の形態が違う。八頭町は民間のスーパーがあることをご理解いただきたい。

## 要支援者の 避難対策

### 福祉避難所の訓練の実施は

#### 町長／全町の防災の日に実施できれば

#### 質問

災害時に支援が必要な人に対して個別支援計画が必要となっている。次の2点を伺う。

- ①個別の支援計画の進捗状況は。
- ②「要配慮者の安全確保計画」の中で福祉避難所等の訓練を実施することとあるが。

#### 答弁 吉田町長

①令和3年5月の災害対策基本法の改正により努力義務化されたが居住する集落や自警団などの関係団体との協力も必要で、簡単に作成できない。  
本人やご家族、関係機関と協議を行い実効性のある個別の支援計画を作成したい。  
②防災の日に全町で行う訓練に、避難に支援が必要な方の参加をお願いしている。現在「個別避難計画」を基に避難訓練を行うことまでは考えていない。

#### 質問

福祉避難所の訓練の予定は。

#### 答弁 吉田町長

コロナの前までは訓練をしていた。来年以降は再開したい。

#### 質問

町の防災訓練と一緒に実施が良いと考えるが、福祉避難所は別途の訓練か。

#### 答弁 吉田町長

全町の防災訓練の日に合わせて実施できればと考えている。



船岡の福祉避難所



## 郷土愛を 育む施策

### やずバスの無料化は 実施するのか

町長／学校側との  
十分な協議が必要



緒方 陽紀 議員

#### 質問

以前、一般質問において、友達と遊んだ様な思い出が郷土愛を育む為には重要だと提言した上で、小学生、中学生に対し、やずバスを無料化できないか町長に伺った。

無料化の提案理由として、小学校、中学校の統合により広範囲の地域から通学するようになった為、家族が車で送迎しないと、直接会って遊ぶ事が出来ない状況が発生している事。友達と遊ぶ為にお金がかかるといふ環境は避けたいなど。

質問に対する町長の答弁は「学校サイドとの協議が必要」であった。今後、やずバスの無料化は実施するのか伺う。

#### 答弁

吉田町長

学校サイドから無料化することにより、生徒指導の面で問題が発生するのではないかと伺っている。

る。

町として、町内の公共交通機関を利用し子どもたちが交流することは、将来の町づくりにつながるかと考えているが、運用に関しては学校側との十分な協議が必要だ。

#### 質問

子どもたちの主な移動手段は徒歩、自転車、保護者の送迎である。もちろんすべての家庭が送迎できるわけではない。保護者の負担、安全面の確保、あくまで現在運行している「やずバス」を利用する事などメリットしかないように思うがどうか。

#### 答弁

藪田教育長

苦情とまではいえないが、郡家駅に学生が集まっていると情報が入ってきている。それを加速させる可能性がある。また国道29号沿いの児童生徒が利用できないという平等性の課題がある。

## やずバス

細見・皆原線を一本化し、  
大江線に連結しては  
町長／折り返しの時間がとれない

#### 質問

やずバスの現状と今後について町長に伺う。

①利用状況に対する所見は。  
②これからの八頭町に対する役割は。

③若桜鉄道やタクシーとの連携、すみ分けはどのように考えているのか。

④買い物環境整備の為、細見線、皆原線を一本化し船岡庁舎で大江線に連結することはできないか。

#### 答弁

吉田町長

①路線によって利用実態が非常に少ないのが現状。

②通勤・通学の軸となる若桜鉄道への乗り継ぎ、町内の公共施設や医療機関、買い物に利用いただくこと。

③行きは鉄道で、帰りにバスを利用するといった相互利用もできるような共通バスで、利用者にとって利便性の高いものにしていくこと。



やずバス

とが持続可能なものではないかと考えている。

広域で取り組むべきことで、現在、鳥取県東部圏域で実証実験第2弾が検討されていると伺っている。

④折り返しの時間が取れないこと、また長距離になると、乗車人員がオーバーした場合などの懸念も出てくる為難しい。

## 带状疱疹

### 带状疱疹予防ワクチンの 助成をすべきだが

町長／国の審議会の  
今後の動向を注視したい



中村 美鈴 議員

#### 質問

最近、带状疱疹に罹患した方の声を伺う。殆どの方が持つ水痘带状疱疹ウイルスで起きる。50代以降に発症し易いが、近年若い世代の患者の報告例もある。激痛で神経痛となり一生涯続く場合もある。

- ① 本町の带状疱疹の認識と現状は。
- ② 病気の合併症と後遺症の考えは。
- ③ ワクチン予防接種助成の考えは。

#### 答弁

吉田町長

① 鳥取県国保連の資料提供によると、令和3年度国保加入者で带状疱疹の方は41人（1.4%）令和4年度47人（1.3%）だ。水痘・带状疱疹ウイルスにより、引き起こされる感染症で、水ぼうそうで発症する。

② 治癒後も体内の神経節に潜伏しており、加齢やストレス、過労等で免疫力が低下すると痛みを伴う赤い発疹が生じる。50代から70歳代に多く見られる病気だが、過労やストレ

スが引き金となり若い人に発症する事も珍しくない。免疫機能低下が関係している為、日頃から食事バランスや睡眠を取り、体を動かす等規則正しい生活習慣が重要だ。

- ③ 予防ワクチンは、市町村が実施する定期接種でなく、希望者が受ける任意接種と位置付けているので助成は難しい。現在、ワクチンは国の審議会で定期接種化の議論をしており、今後の動向を注視したい。

#### 質問

事例で、今年4月から千葉県毛呂山町がワクチン接種費用助成を接種ごとに5千円助成していると記事があった。ワクチン助成をする自治体が増加している。町民の健康を守る観点で、再考は。

#### 答弁

吉田町長

非常に大事なことだ。保健課や町内の医療機関と話をしたい。

## ヤングケアラー

### アンケートや 実態把握はできないか

町長／鳥取県と共有し、  
アンケート等県に確認したい

#### 質問

厚生労働省では、ヤングケアラーは家事や家族の世話等を日常的に行っている子どもと定義される。

- ① 昨年の県調査は、自分がそれに当たるとした児童・生徒が28人いた。本町のその後のアンケートは。
- ② 研修でケアラー把握の現状は。
- ③ ケアラー早期発見と支援体制は。

#### 答弁

吉田町長

① 特化したアンケートは実施していない。現状把握もない。

③ 関係機関が連携し、家族全体を重層的に支援できる体制作りが必要だ。「要保護児童対策協議会」を中心に、実態把握に努めている。子どもにも「気づく」相談機関に「つなぐ」「支援する」本人・家庭を「見守る」支援体制の強化をしたい。

#### 答弁

藪田教育長

② 教育相談担当教諭等が受講し、校内研修で情報共有を実施。スキル

を高めたい。

#### 質問

重要な案件と考えるが。

#### 答弁

吉田町長

鳥取県と共有し、アンケート等ができると思うので県に確認したい。



ヤングケアラーの相談窓口（保健課）

## 子育て・教育

### 保育所はなぜご飯を持参するのか

町長／課題を精査し検討したい



柴田 秀之 議員

#### 質問

人口減少下において、満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するか、個別の分野の課題として①子育て教育②医療・介護③インフラ等を示している。

①不登校について、新聞には不登校児童生徒、過去最高とあったが町の現状及び不登校の対応は。

②給食無償化について、県内の市町村で対応にばらつきがあるが、本町はなぜ無償化にしないのか。検討しているのか。

③小中学校で給食を実施しているのに、保育所はなぜご飯を持参するのか。

#### 答弁

吉田町長

①現在不登校は小中学校で13人だ。スムーズに学校復帰や社会復帰へつながるようなサポートを考えている。

②義務教育の中の給食であり、子育て施策として、国の施策として取り組む課題であり、機会をとらえて要

望していく。

③完全給食を実施するには、調理施設等の環境整備の確保の必要があり課題を精査し検討を考えたい。

#### 質問

いまだかつて保育所の弁当、ご飯の持参、これは是正されていないが。

#### 答弁

吉田町長

そういった意見は聞いている。課題を整理して検討したい。

#### 質問

その課題はいつ頃までに整理されるのか。

#### 答弁

吉田町長

この議会が終われば、課題や方法について、どうすればできるか等に取りかかると。

## 支援対策

### ひきこもりや障がいのある方々の支援は町長／福祉課や支援センターと連携を図っている

#### 質問

ひきこもりや障がいのある方々の働き、暮らしを応援する法人で研修をした。

本町のひきこもりや障がいのある方々の働きや暮らしの応援は。地域の担い手になることの応援は。

#### 答弁

吉田町長

ひきこもりの方やご家族の相談窓口は福祉課だ。八頭町社会福祉協議会の福祉相談センターも、ひきこもり支援を行っている。

障がいのある方の、就労支援は就労移行、就労継続等の調整をする相談支援事業所と連携を図っている。町内の事業所「こぼちゃん」では電子部品の製造や農業などにも携わっている。

#### 質問

ひきこもりは大きな問題だ。まず第一歩は、相談窓口を明確にし

て全世帯に知らせてもらいたい。

#### 答弁

吉田町長

相談窓口を知ってもらうことは大事だ。広報紙等で周知したい。

※その他の質問  
産業づくりについて



ひきこもりの相談窓口（福祉課）

## 議会モニターさんの声



ほんだ みちよ  
**本田 享代さん** 「議会に高い関心を」

議会モニターは初めてでモニター自身の制度の趣旨や役割が理解しにくいと最初は感じました。

また、定期的にアンケートに回答していますが肌感覚で議会が変わっている実感は乏しく思います。

議員の方は議会に出られるまではそれぞれの経歴があるので、その経験を生かした活動を通して町民の意見を反映させて頂き、町民が議会に高い関心を維持できるような活動を切望します。



なかや ふみお  
**中屋 史男さん** 「町議会、傍聴の勧め」

議会モニターになり、町議会は行政のあらゆることを討議し最終的に議決し、更に町の将来について議論を深める場所なのだ学びました。

自分が選んだ推しの議員の活躍を頼もしいと感じたり、知らなかった議員が新しい推しになるかもしれません。町議会のグラウンドで真剣にプレイし活動している場に町民の皆さんが関心を持って集まることが町政のバックアップになるように思います。たくさんの傍聴を期待しています。

### 議会の傍聴をしてみませんか

## 本会議はケーブルテレビで生中継しています

なお、定例会の本会議はインターネット配信もしています



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

議会、議会だよりに関する意見、ご要望をお寄せください。

### 編集後記

12月定例会でタブレット端末を議場または委員会室で使用できるよう会議規則が一部改正されています。これに伴い、今号では初めてブラウザ上でデータの校正チェックができるシステムを活用して編集に取り組みました。  
慣れない作業で戸惑うこともありましたが、今後は編集の効率化につなげていくとともに、より良い紙面づくりを目指してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

(記：灘口茂郎)



編集の様子

#### 編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 緒方 陽紀 |
| 副委員長 | 森 亜紀子 |
| 委員   | 前田 幸巳 |
| 委員   | 矢部 啓祐 |
| 委員   | 灘口 茂郎 |
| 委員   | 川西 のぶ |
| 委員   | 奥田 のぶ |